

大学における教育内容等の改革状況について

大学においては、教育内容の改善を図る取り組みが積極的に行われているところである。文部科学省では、大学に対する調査を行うなどして、平成15年度の大学における教育内容等の改革状況を取りまとめた。

< 概要 >

1. カリキュラム改革の実施状況 (P 1 ~ 8)

過去4年間(平成12年度~平成15年度)において、全体の約8割の大学の553大学(約80%)、1,334学部(約75%)が、科目区分や必修・選択科目の見直しなど、カリキュラム改革を実施。

2. 授業の質を高めるための具体的な取組状況 (P 9 ~ 14)

シラバスの作成状況

669大学(約97%:平成14年度) 690大学(約99%:平成15年度)

学生による授業評価の実施状況

574大学(約84%:平成14年度) 633大学(約91%:平成15年度)

履修科目登録の上限設定(キャップ制)の実施状況

381大学(約56%:平成14年度) 399大学(約58%:平成15年度)

厳格な成績評価(GPA制度)の導入状況

146大学(約21%:平成14年度) 163大学(約24%:平成15年度)

ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施状況

458大学(約67%:平成14年度) 482大学(約69%:平成15年度)

3. 大学院の整備・充実 (P 15 ~ 16)

学位授与数

修士課程 66,292人(平成13年度) 68,766人(平成14年度)

博士課程 16,183人(平成13年度) 16,314人(平成14年度)

4. 単位互換、編入学等「開かれた大学」への取組状況 (P 17 ~ 24)

4月以外の入学者受入れの実施状況

学部 256大学(約38%:平成14年度) 269大学(約39%:平成15年度)

大学院 317大学(約62%:平成14年度) 378大学(約71%:平成15年度)

単位互換制度を設けている大学

474大学(約69%:平成14年度) 512大学(約73%:平成15年度)

昼夜開講制の実施状況

学部 72大学(約11%:平成14年度) 76大学(約11%:平成15年度)

大学院 238大学(約47%:平成14年度) 262大学(約49%:平成15年度)

5. 自己点検・評価、外部評価等の実施状況等 (P 25 ~ 26)

外部の第三者による評価の実施状況

282大学(約41%:平成14年度) 304大学(約43%:平成15年度)

教員の教育面の業績評価の実施状況

161大学(約23%:平成14年度) 187大学(約27%:平成15年度)

(参考)平成15年度の基本データ(平成15年5月1日現在)

	大学数	学部数	研究科数	学部学生数	大学院学生数
国立	97(97)	357	396	460,483	142,184
公立	76(64)	159	138	103,407	12,796
私立	525(370)	1,256	846	1,945,484	76,509
放送大学	1(1)	1	1	86,036	12,475
計	699(532)	1,773	1,381	2,595,410	243,964

()内は、大学院を置く大学数

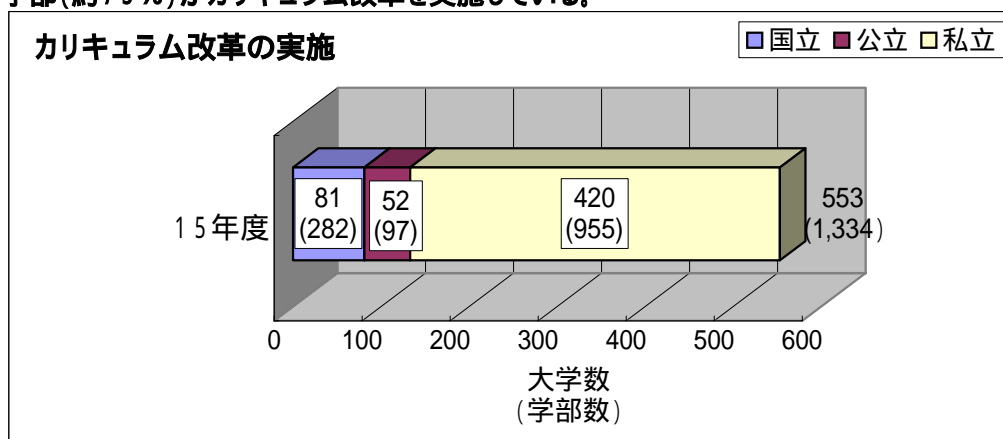
大学における教育内容等の改革状況について

1. カリキュラム改革の実施状況

<カリキュラム改革>

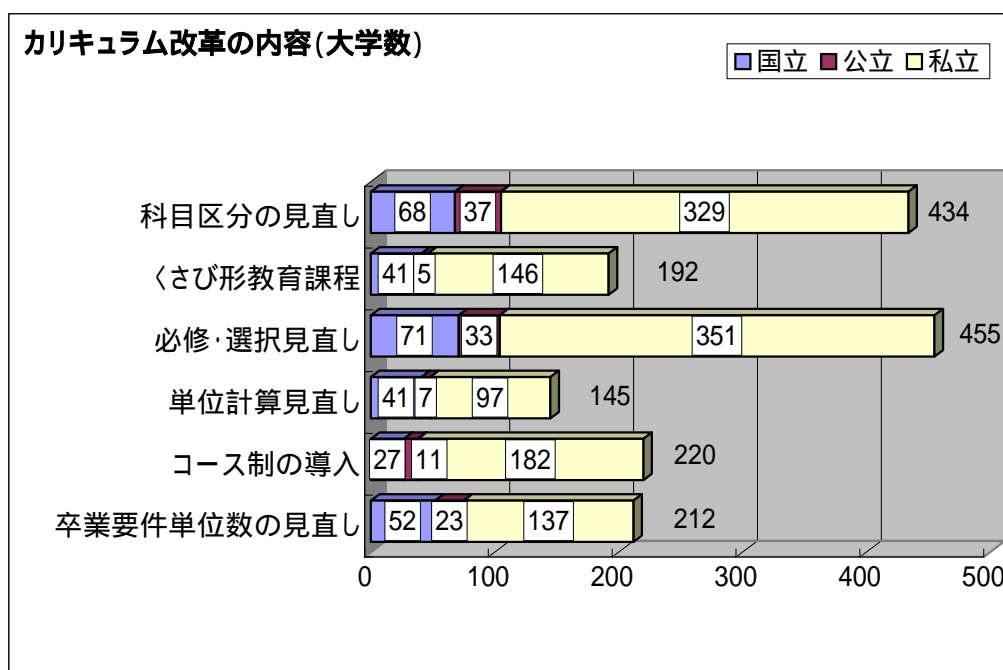
カリキュラム改革の状況

直近の過去4年間(平成12年度～平成15年度)において、全体の約8割の553大学(約80%)、1,334学部(約75%)がカリキュラム改革を実施している。



(注)・学部においてカリキュラム改革が行われた大学数。
・私立大学には、放送大学を含む。(以下、特に断らない限り同じ。)

(カリキュラム改革の具体的内容(平成15年度))

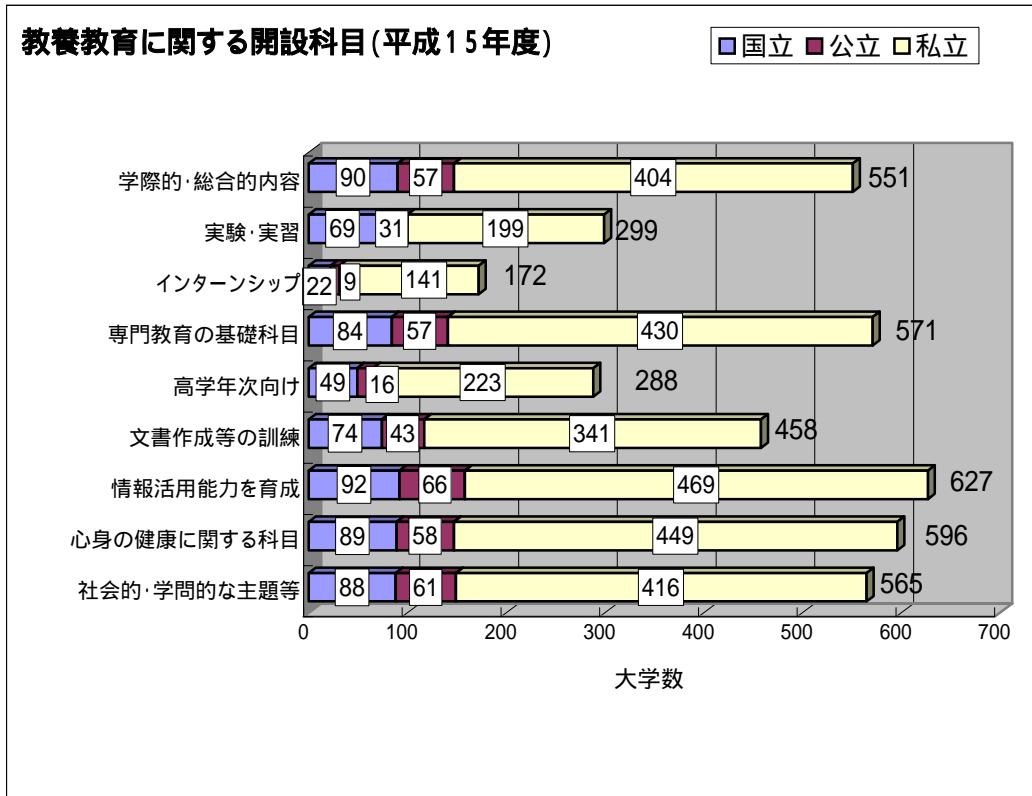


*くさび形教育課程とは、専門教育、教養教育とも4年間を通じて履修できるカリキュラムを指す。

< 教養教育の実施 >

教養教育の実施状況(平成15年度)

様々な取組が行われているが、情報活用能力の育成、心身の健康に関する科目、専門教育の基礎科目及び社会的・学問的な主題等について開設している大学が多い。

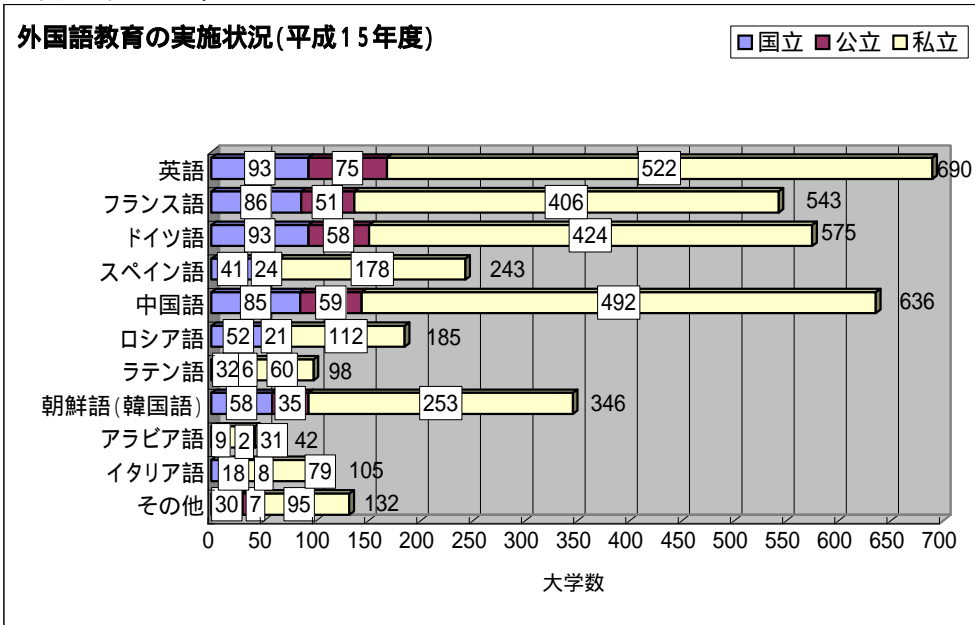


大学院大学8大学(国立4大学、公立1大学、私立3大学)は対象としない。

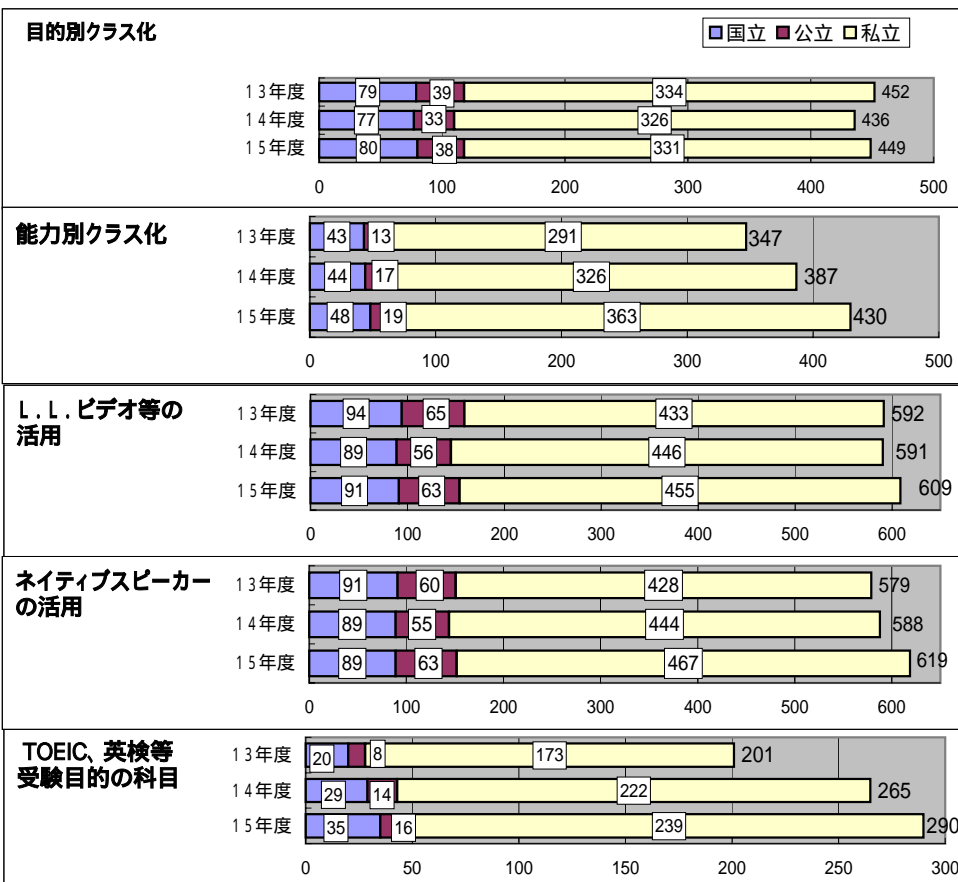
< 外国語教育の改革 >

外国語教育の実施状況

英語、フランス語、ドイツ語、中国語の科目を開設している大学が多いが、朝鮮語(韓国語)の科目を開設している大学も多い。また、能力別クラスの編成、ネイティブスピーカーの活用等様々な取組が見られる。

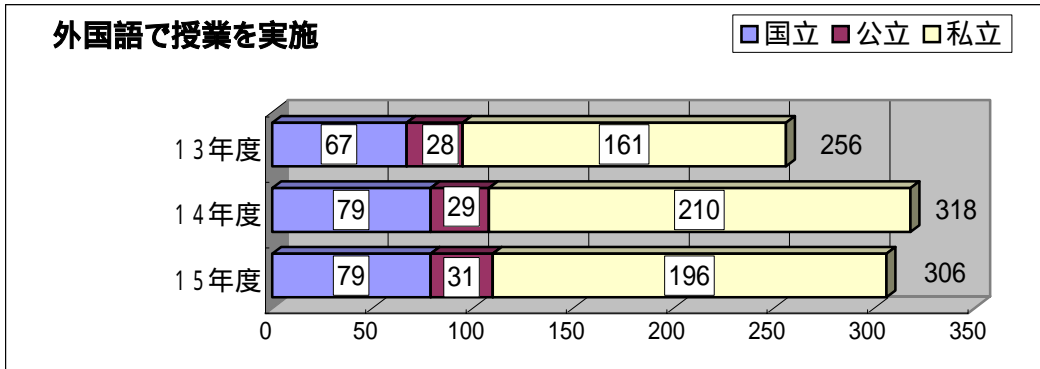


(外国語教育における取組(大学数))



(注)「目的別クラス化」とは、会話中心、速読中心など目的別にクラス編成を行っている場合をいう。

外国語による授業の実施状況(大学数)



(注)外国語と日本語の併用による授業も含む。

(英語による授業の実施例)

・筑波大学第三学群

国際総合学類では開設している授業の3分の1程度を英語で実施。教官の採用も英語で授業ができることを条件にしている。

・会津大学コンピュータ理工学部

3年次、4年次の専門科目の半数程度を英語で実施しているほか、卒業論文は英語で提出することを義務付けている。

・関西学院大学総合政策学部

「言語文化論入門」、「国際政治学」、「比較社会論」など40の授業科目を英語により実施。

英語教育に関する達成目標の設定状況(大学数)

卒業時に学生が身につけるべき水準について何らかの達成目標を設定
(平成15年度)

合計	国立大学	公立大学	私立大学
80	16	11	53

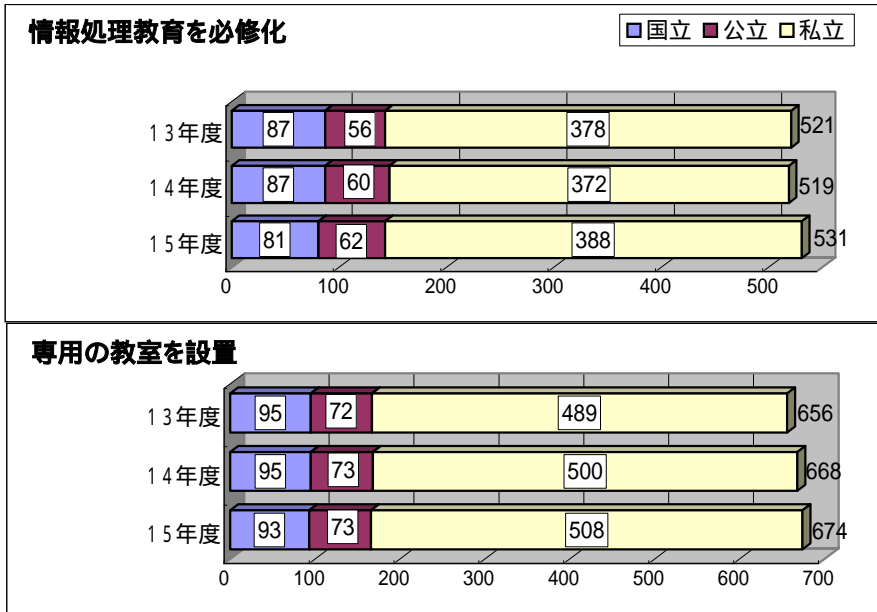
(達成目標の例)

- ・ 文献から必要な情報を収集できる能力、基礎的な専門用語が分かる能力、英文を英語のまま理解し、その内容を英語で説明、発表することができる能力の育成。
- ・ TOFEL、TOEIC、英検などの認定試験における一定水準の達成。
- ・ 英字新聞の一般記事の大意が理解できる能力、専門領域での英語による意思疎通ができる能力の育成。
- ・ 能力別クラス編成により、各クラス毎に段階に応じた達成目標を設定。

< 情報化への対応 >

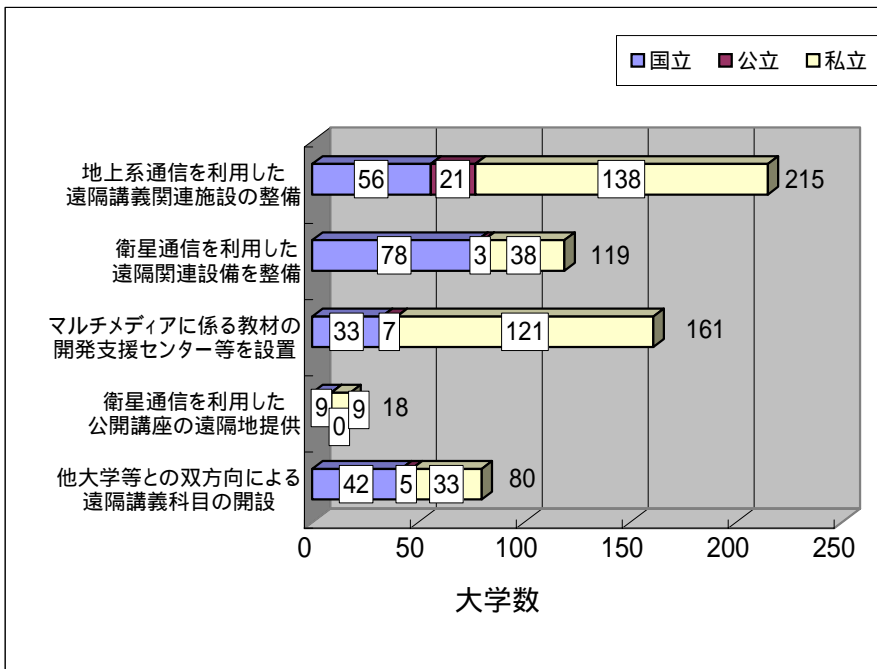
情報(処理)教育の実施状況(大学数)

国公私立531大学(約77%)で情報処理教育を必修化しており、674大学(約98%)で専用の教室を設置している。



大学院大学8大学(国立4大学、公立1大学、私立3大学)は対象としない。

マルチメディアの活用状況 (平成15年度)



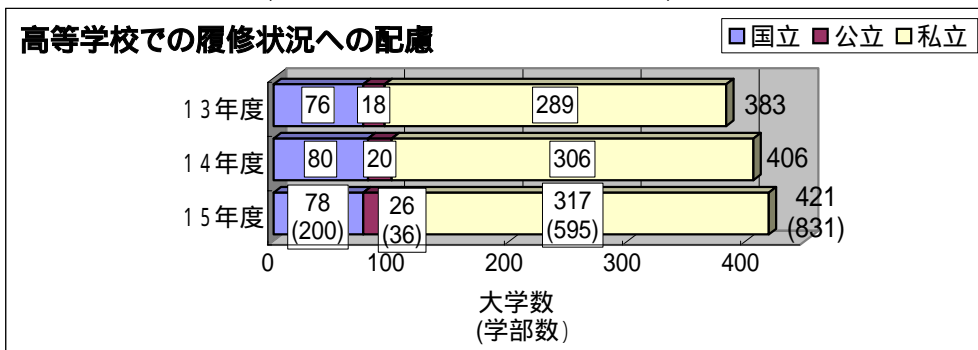
(マルチメディアを活用して他大学との双方向による遠隔講義科目を開設している大学例)

- ・徳島大学「総合科目(現代社会の倫理)」
- ・東海大学「基礎工学特論」など7科目
- ・早稲田大学「アジアの共生」講座

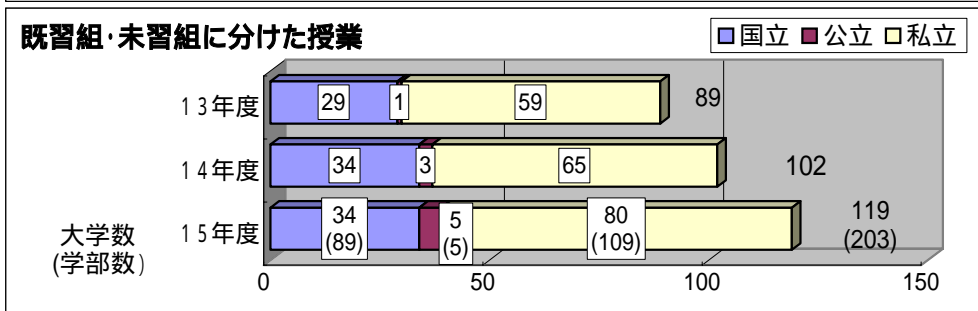
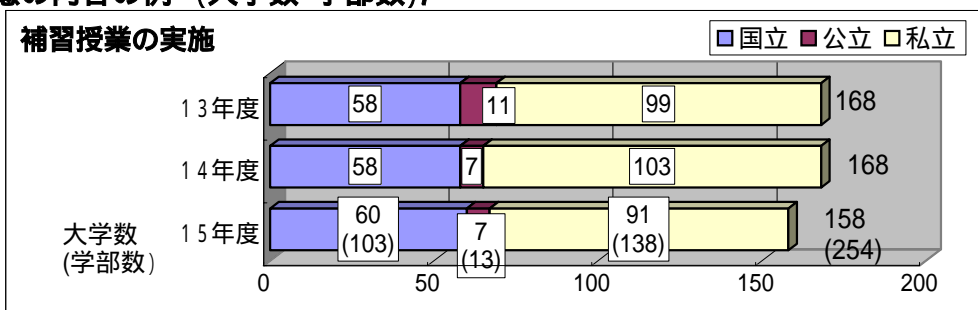
< 高等学校での履修状況への配慮 >

高等学校での履修の多様化に伴い、補習授業の実施など高等学校の履修状況に配慮した取組を行う大学も年々増加しており、平成15年度においては、国公私立421大学(約61%)、831学部(約47%)が実施している。

大学院大学8大学(国立4大学、公立1大学、私立3大学)は対象としない。



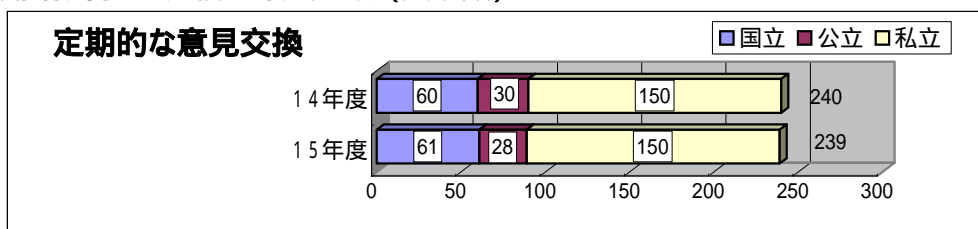
(配慮の内容の例 (大学数・学部数))



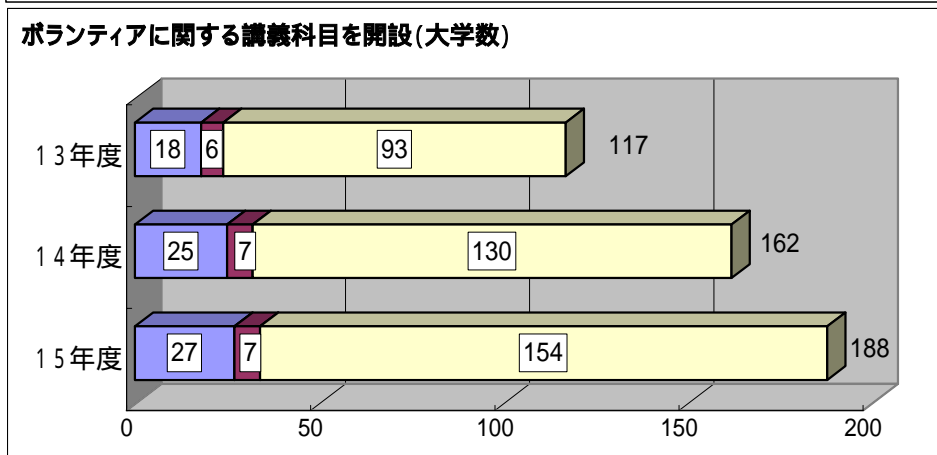
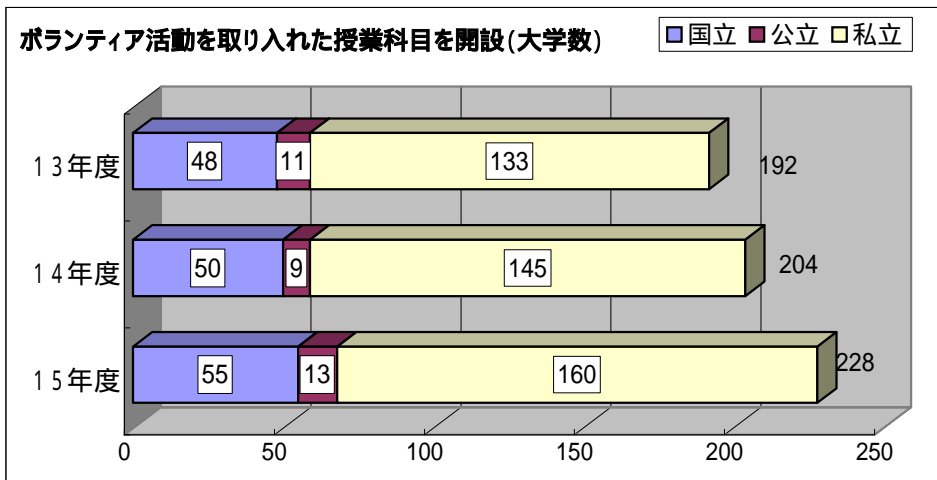
(補習授業の取り組み例)

- ・佐賀大学工学部
「基礎解析学」の履修にあたり、希望者に計算練習を中心とした数学の補習授業を実施。
- ・長浜バイオ大学
未履修者を中心に高校物理の基礎を「基礎物理学」として90分×6回実施。

(高校関係者との連携の取り組み) (大学数)



< ボランティア活動を取り入れた授業科目等の開設状況 >



(ボランティア活動を取り入れた開設授業科目の例)

・札幌大学経済学部「ボランティア実習」

イベント補助を始め、周辺の美化清掃、除雪活動等及び地域諸活動支援等のボランティア体験を通じて、実社会の現状を学習し、社会人としての基礎能力を高めることを目的とし、講義と実習の一貫授業として行う。

< 専攻以外の分野を学習させるための配慮 >

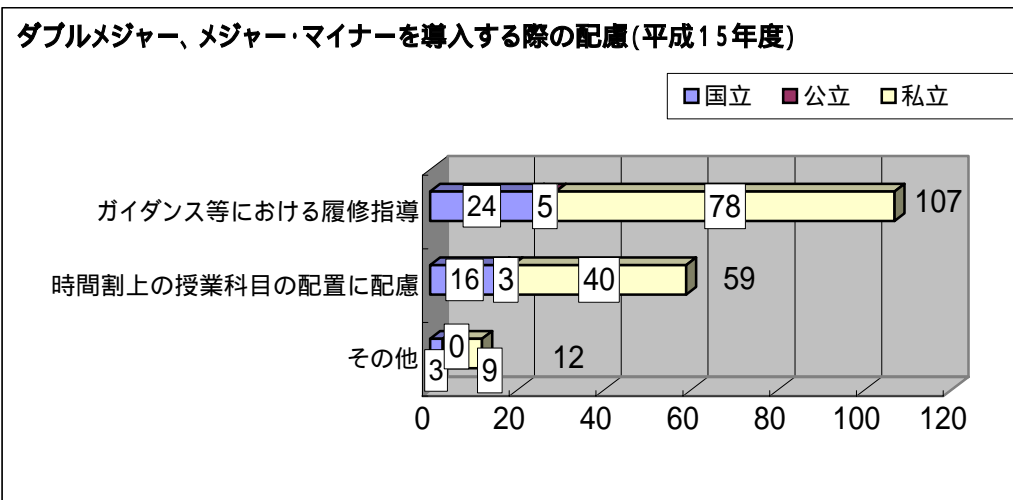
(ダブルメジャーやメジャーマイナーの導入状況)

専攻分野以外の分野の授業科目を体系的に履修させる「ダブルメジャー」や「メジャー・マイナー」は、平成15年度現在、国公立117大学(17%)、202学部(11%)が実施している。

(平成15年度)

	国立大学	公立大学	私立大学	計
大学数	25	5	87	117
学部数	37	9	156	202

大学院大学8大学(国立4大学、公立1大学、私立3大学)は対象としない。



(ダブルメジャー、メジャーマイナー等を導入している大学の例)

- ・京都大学人間総合科学部 「副専攻制度」
- ・桜美林大学 「主専攻・副専攻制度」
- ・兵庫大学経済情報学部 「主専攻・副専攻制度」
- ・北海道大学大学院工学研究科 「双峰型教育」
- ・常盤大学大学院人間科学研究科 「メジャー・マイナー制」

(ジョイントディグリーを導入・検討している大学)

「ジョイント・ディグリー」とは、ある分野で学位を授与された後に別の分野で教育を受け、学位を授与されるというように、一定期間において複数の学位を取得できる履修形態を指す。

(平成15年度)

	国立	公立	私立	計
導入している	0	0	10	10
検討中	25	3	44	72

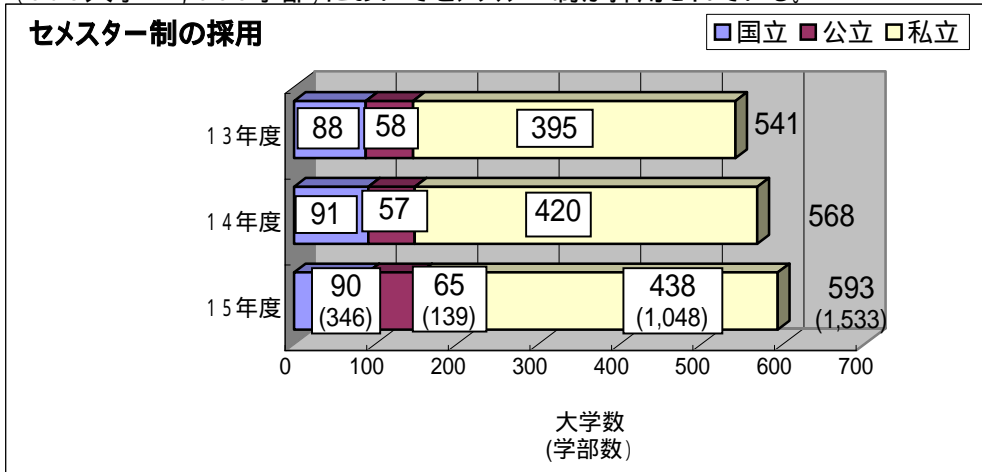
(注): 学部または研究科で導入・検討している大学数。

2. 授業の質を高めるための具体的な取組状況

< 授業期間等 >

セメスター制の採用状況

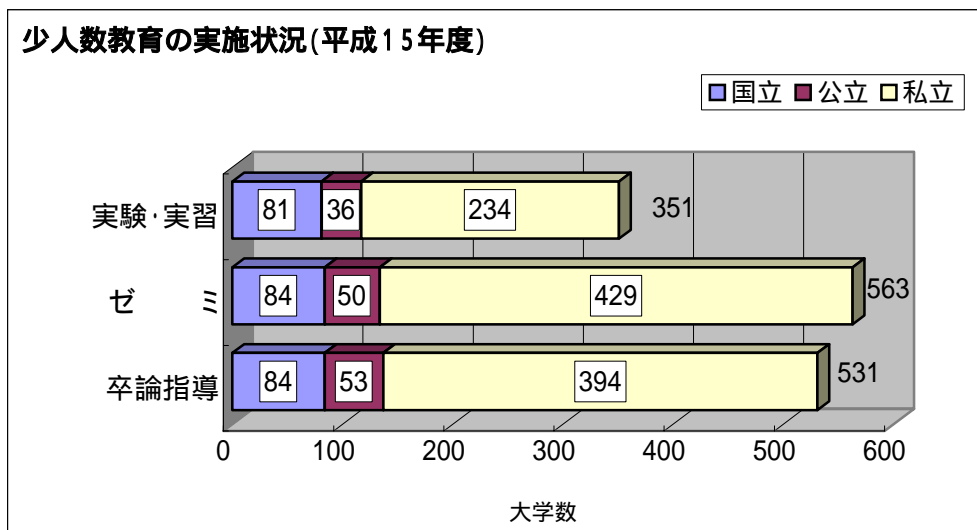
セメスター制を採用する大学は年々増加しており、平成15年度現在、8割以上の大学(593大学・1,533学部)においてセメスター制が採用されている。



大学院大学8大学(国立4大学、公立1大学、私立3大学)は対象としない。

セメスター制 : 1学年複数学期制の授業形態。日本でよく見られる通年制(ひとつの授業を1年間を通して実施)における前期・後期の区分とは異なり、ひとつの授業を学期(セメスター)ごとに完結させる制度。

< 少人数教育の実施 >

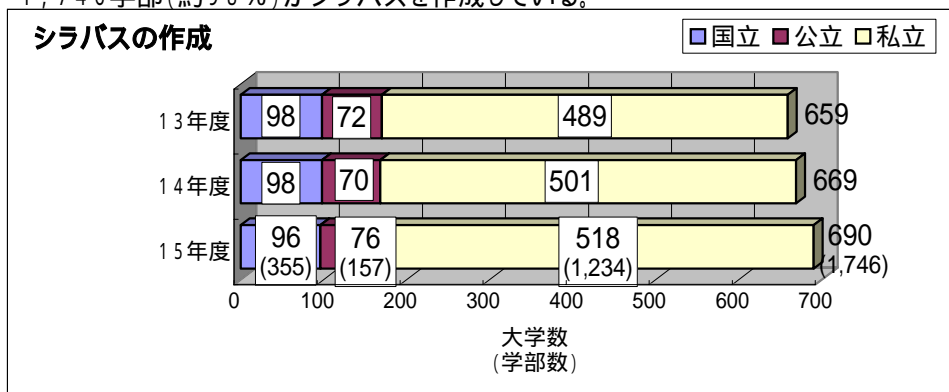


大学院大学8大学(国立4大学、公立1大学、私立3大学)は対象としない。

(注)ここでの「少人数」とは、1クラスの学生数が20人以下の場合を指す。

<シラバスの作成状況>

シラバスを作成する大学数は年々増加しており、平成15年度現在、690大学(約99%)、1,746学部(約98%)がシラバスを作成している。

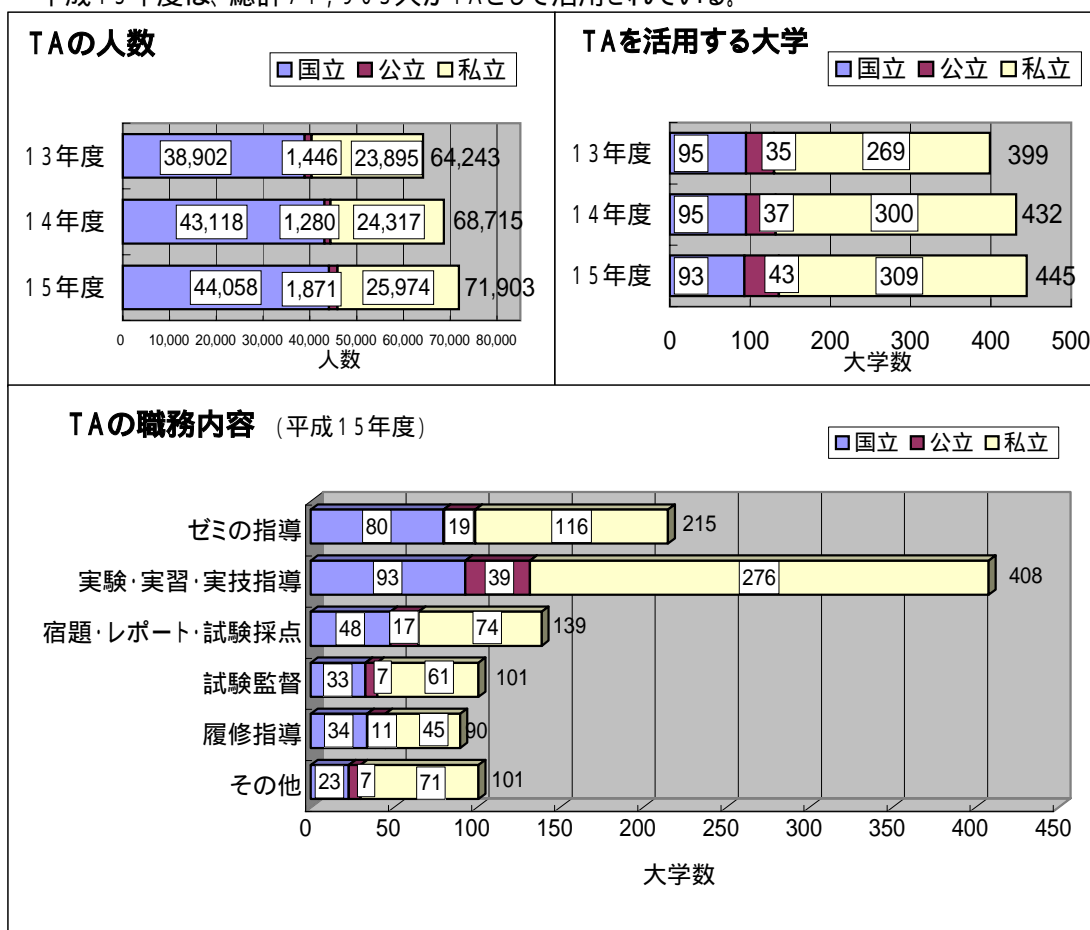


シラバス：授業科目名、担当教員名、講義目的、講義概要、毎回の授業内容、成績評価方法、教科書や参考文献、履修する上での必要な要件等を詳細に示した授業計画。

(注)大学数には、研究科のみでシラバスを作成している大学を含む。

<ティーチング・アシスタント(TA)の活用状況>

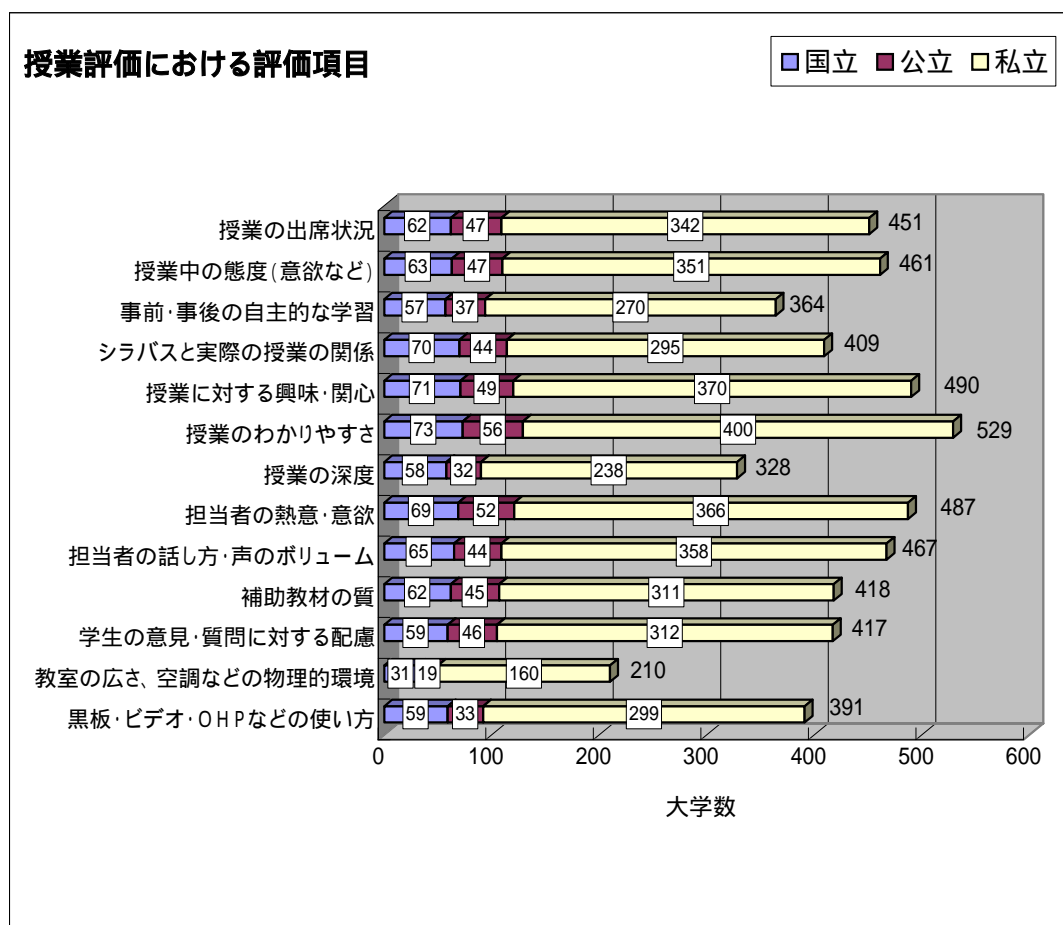
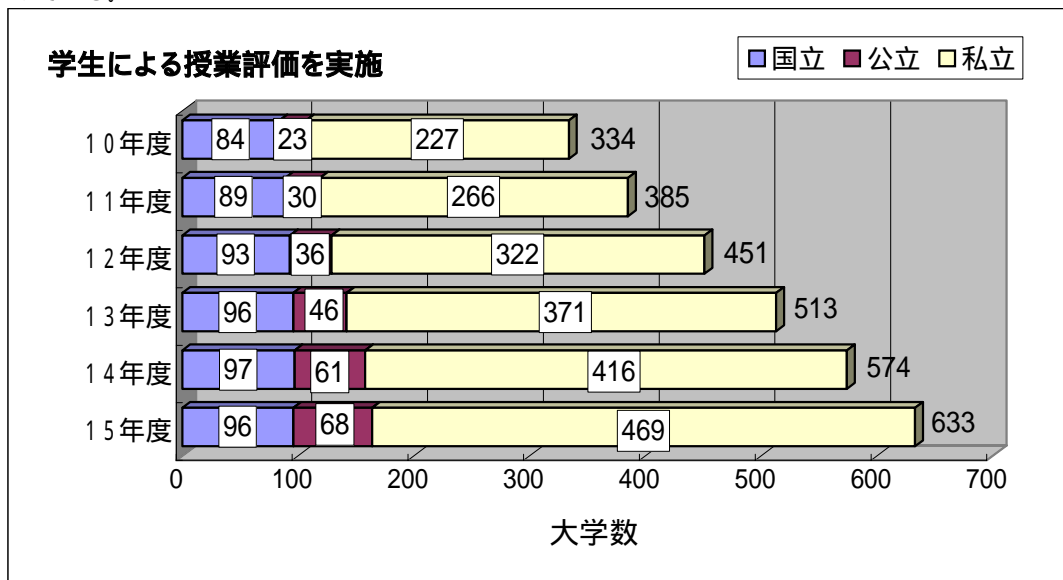
平成15年度は、総計71,903人がTAとして活用されている。



TA：学部学生等に対するチューティング(助言)や実験、実習、演習等の教育補助業務(具体的には、演習のディスカッションリーダー、レポート・試験等の採点など)を行い、これに対する手当を支給される大学院学生等を指す。

< 学生による授業評価の実施状況 >

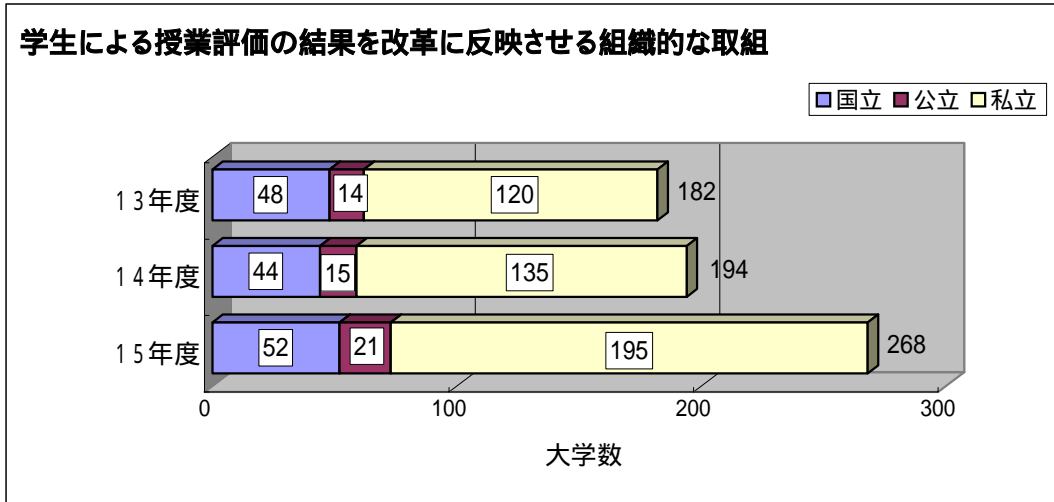
平成15年度までに、国立96大学(約99%)、公立68大学(約89%)、私立469大学(約89%)、国公私立全体で633大学(約91%)において、学生による授業評価を実施している。



(注) 全学で実施している項目について集計

学生による授業評価の結果を改革に反映させる組織的な取り組み

平成15年度までに学生による授業評価を実施した大学のうち、授業評価の結果を改革に反映するための組織的な取り組みが行われていると答えたのは、国立52大学(約54%)、公立21大学(28%)、私立195大学(約37%)、国公立全体で268大学(約38%)となっている。



学生による授業評価の具体的な実施例

(宮城教育大学)

・OCR方式により行い、授業科目は、専攻の専門科目はもとよりほぼすべての科目を対象とし、質問項目は全ての授業共通で10項目を5段階評価で行った。平成15年度前期・後期授業科目は、約500科目を前期94・95%、後期94・89%という高い回収率で実施した。集計は数値データを専攻・講座ごと、授業科目ごと、学年ごとの3つの視点で集計し、自由記述とともに各教員へ返すとともに、専攻ごとにこれらに関する自己点検・評価を行い報告書を作成し、学生への回答としてホームページで公開している。また、各専攻・講座等の自己評価の報告を踏まえて、大学として全学的に評価を行い、授業の点検・評価結果報告書を作成し、教授会に報告している。

(秋田県立大学)

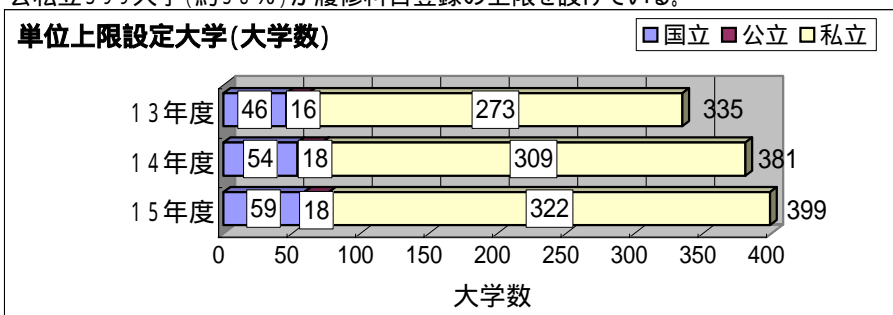
・平成13年度から大学が行う全ての授業を対象に、教員個々人の授業改善及びカリキュラムの改善・充実を実施目的として授業アンケートを実施しており、平成15年度も各学期毎に2回実施した。調査票についてはFD専門部会が集計・分析を行った後、各教員にデータファイルと併せて返却している。実施結果については、前後期分併せて集計・分析した上で報告書を作成している。

(獨協大学)

・全学部・学科で開講されている全科目を対象として実施した。春学期・秋学期の年2回、マークシートによる授業評価と自由記述を併用して実施した。また、全学的に行われる授業評価とは別に、各学部・学科はそれぞれ独自の自己点検を実施することとしている。このほか、各教員の自発的な授業改善のためのシステムとして「授業レポートシステム」を大学として開発し、教員に提供している。

< 単位の上限設定 >

単位の過剰登録を防ぐため、1年間あるいは1学期間に履修登録できる単位の上限を設けている(いわゆる「キャップ制」)大学は年々増加しており、平成15年度現在、国公私立399大学(約58%)が履修科目登録の上限を設けている。

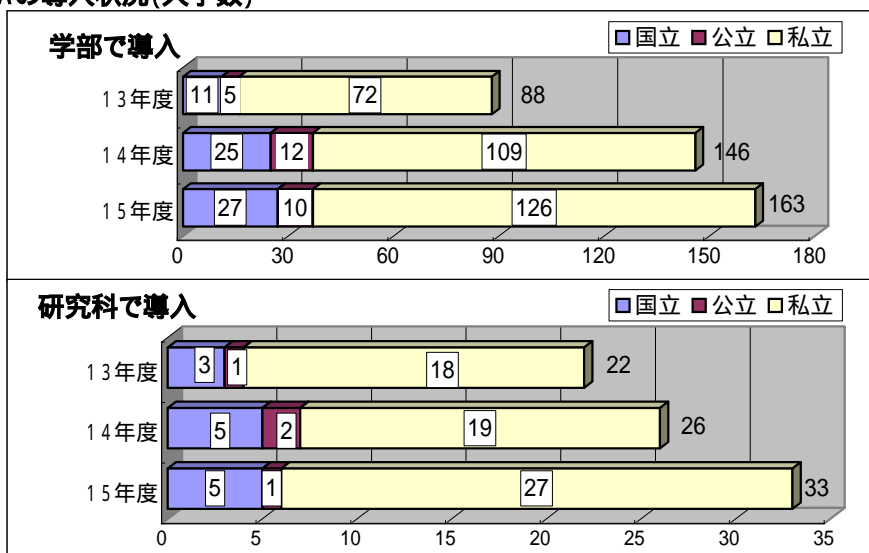


大学院大学8大学(国立4大学、公立1大学、私立3大学)は対象としない。

< 厳格な成績評価の実施 >

シラバス等で授業方法・計画とともに成績評価基準を明示した上で、厳格な成績評価を行うことが求められているが、例えば、現在米国において一般に行われている成績評価方法である「GPA制度」を導入している大学も見られる。

GPAの導入状況(大学数)



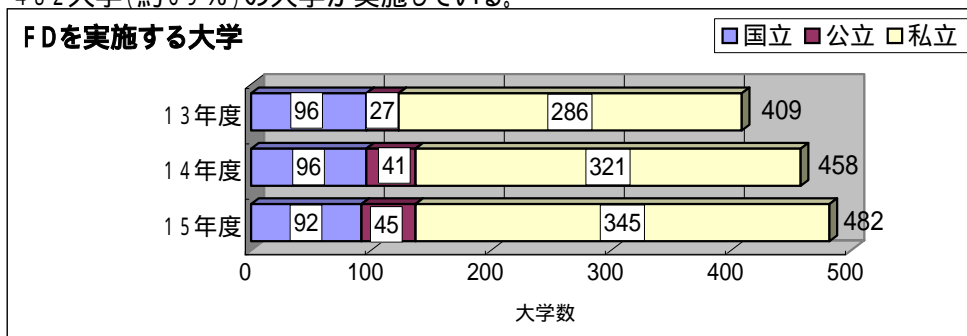
GPA制度 : 授業科目ごとの成績評価を、例えば5段階(A、B、C、D、E)で評価し、それぞれに対して、4・3・2・1・0のようにグレード・ポイントを付与し、この単位あたりの平均を出して、その一定水準を卒業等の要件とする制度。

(GPA制度を導入している大学の例)

- ・横浜国立大学工学部
A(4),B(3),C(2),D(1),E(0)と設定し、卒業判定基準、履修指導、退学勧告に用いている。
- ・札幌国際大学
優(4),良(3),可(2),再試(1),不可(0),失格(0)と設定し、退学勧告基準、次期履修登録上限単位の制限・緩和基準として用いている。
- ・関西国際大学
90～100点=4,80～89点=3,70～79点=2,60～69点=1,60点未満=0と設定し、退学勧告基準、卒業研究登録基準、学習奨励金基準、教育実習登録基準、学長賞及び成績優秀賞基準、履修単位上限基準、奨学金推薦基準に用いている。

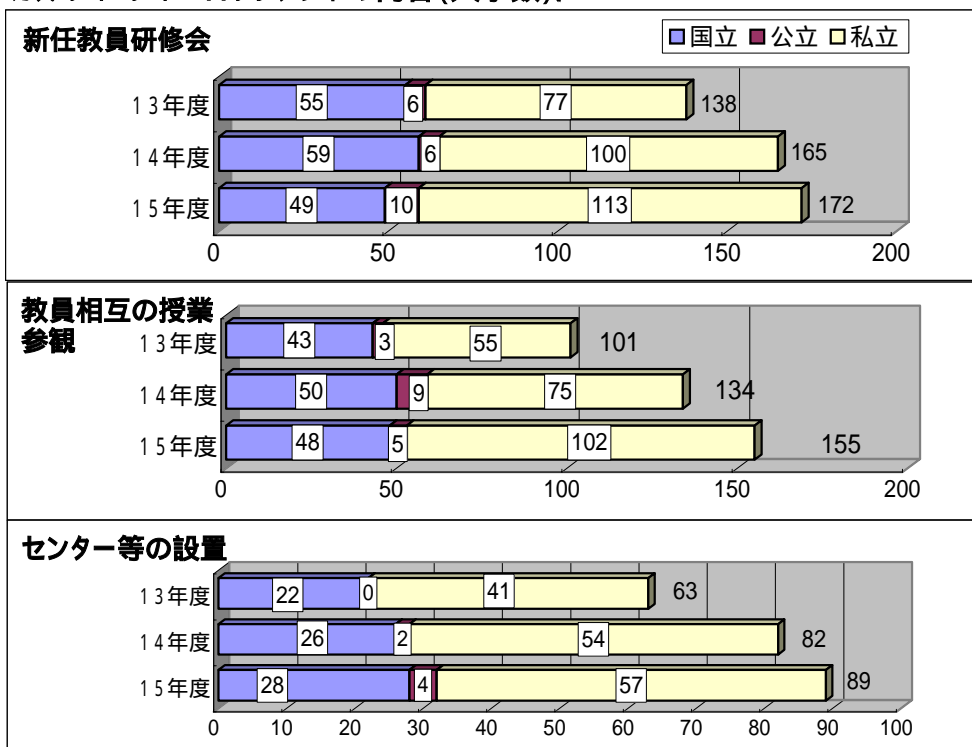
<ファカルティ・ディベロップメントの実施状況>

ファカルティ・ディベロップメントを実施している大学は、年々増加しており、平成15年度現在、482大学(約69%)の大学が実施している。



ファカルティ・ディベロップメント：教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称である。具体的な例としては、新任教員のための研修会の開催、教員相互の授業参観の実施、センター等の設置などを挙げることができる。

(ファカルティ・ディベロップメントの内容(大学数))



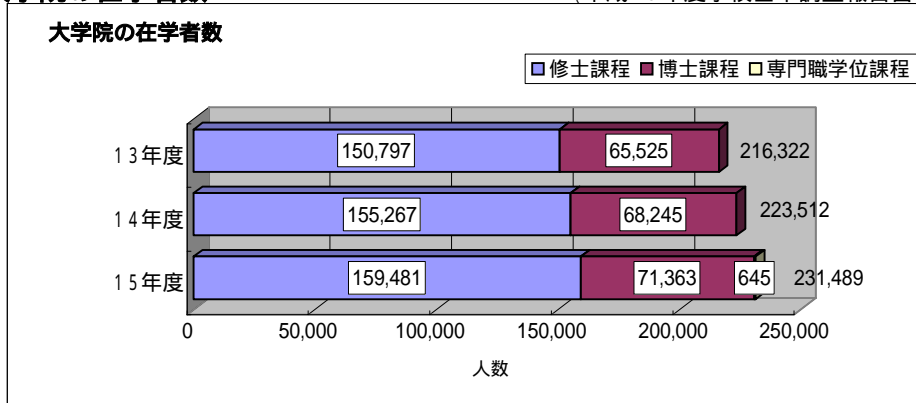
(ファカルティ・ディベロップメントの取組事例)

- ・金沢大学工学部
教育方法改善委員会にてマニュアル「金沢大学工学部版 教師必携」の刊行。
- ・浦和大学
教員による「私の授業Q & A」のホームページ上での開設・公開の試行
- ・愛知みずほ大学
授業ノウハウ集の作成・配布。

3. 大学院の整備・充実

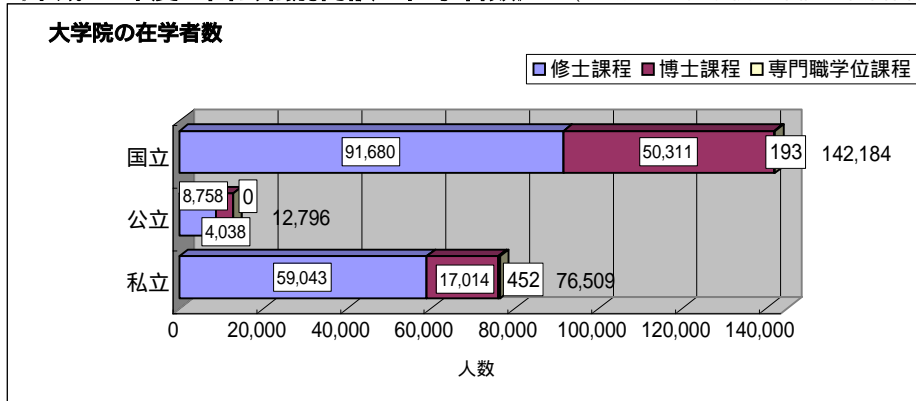
大学院の在学者数

(平成15年度学校基本調査報告書)



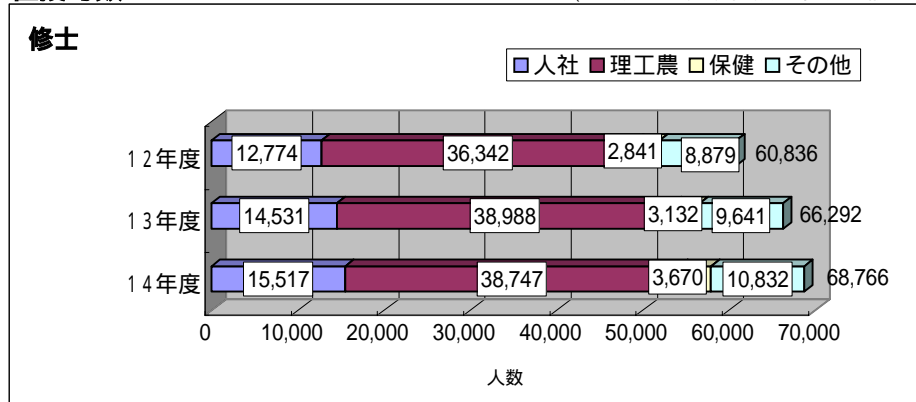
(平成15年度の国公立別内訳 - 在学者数)

(平成15年度学校基本調査報告書)

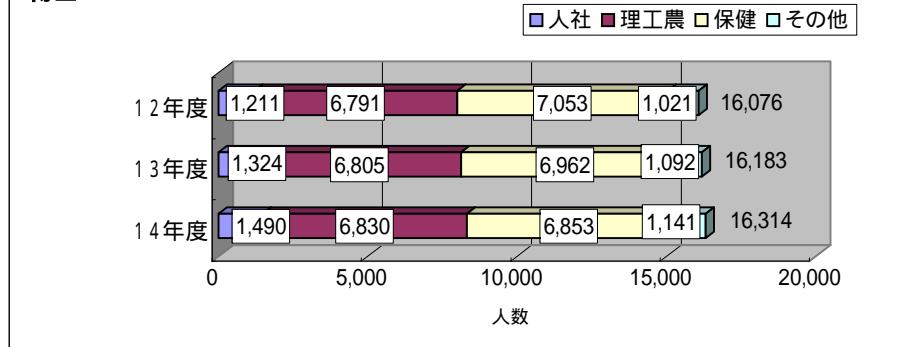


学位授与数

(平成15年度学位授与状況等調査)



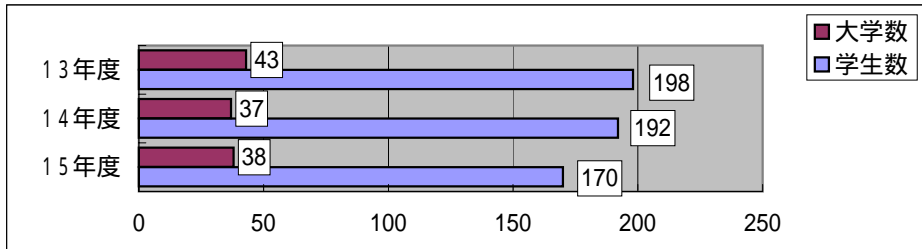
博士



< 入学資格、修業年限の弾力化 >

大学院への飛び入学(実績)

(平成16年度大学院関係資料)

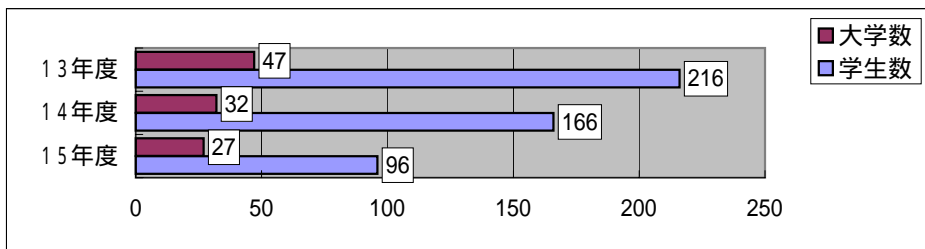


実施大学の例

大阪大学22人、九州大学21人、立命館大学20人

学部卒業後2年以上研究に従事し、修士課程を経ずに博士課程に入学(実績)

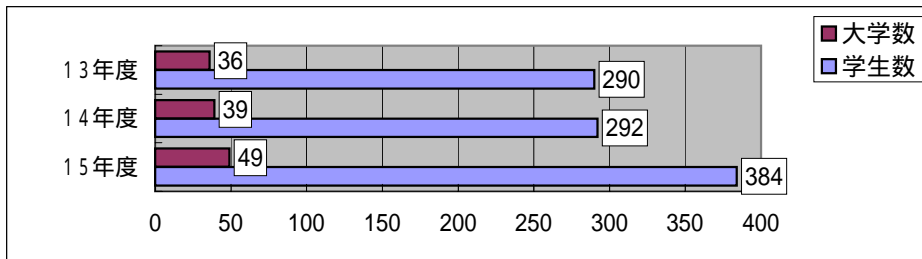
(平成16年度大学院関係資料)



実施大学の例

九州大学13人、岡山大学12人、北海道大学8人、長崎大学8人

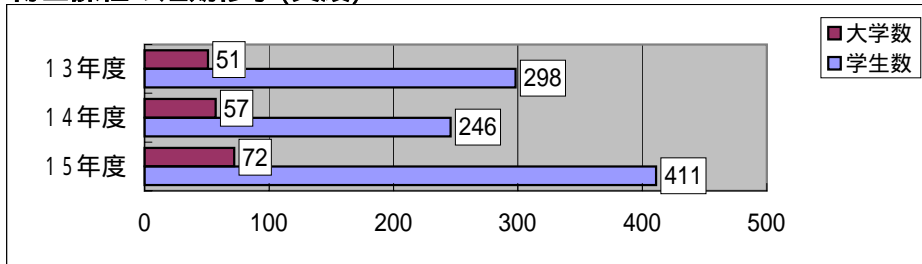
修士課程の短期修了(実績)



実施大学の例

政策研究大学院大学150人、九州大学26人、一橋大学17人、大阪大学17人

博士課程の短期修了(実績)



実施大学の例

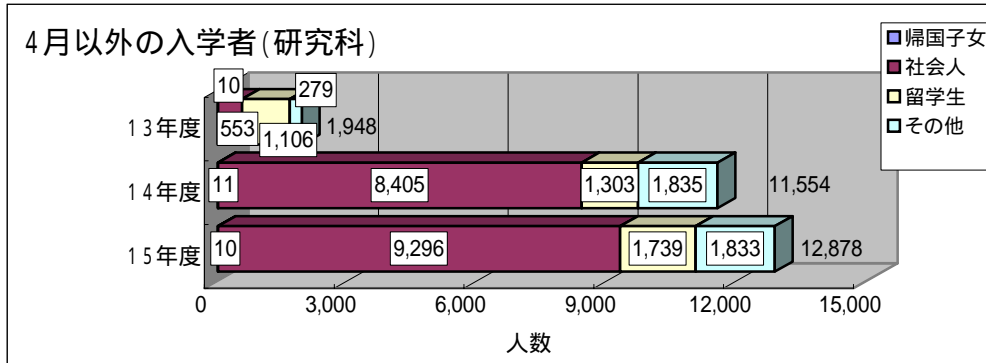
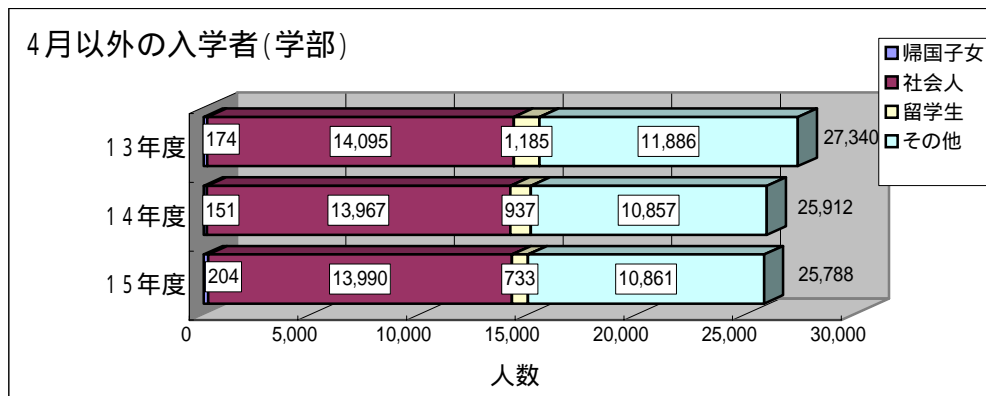
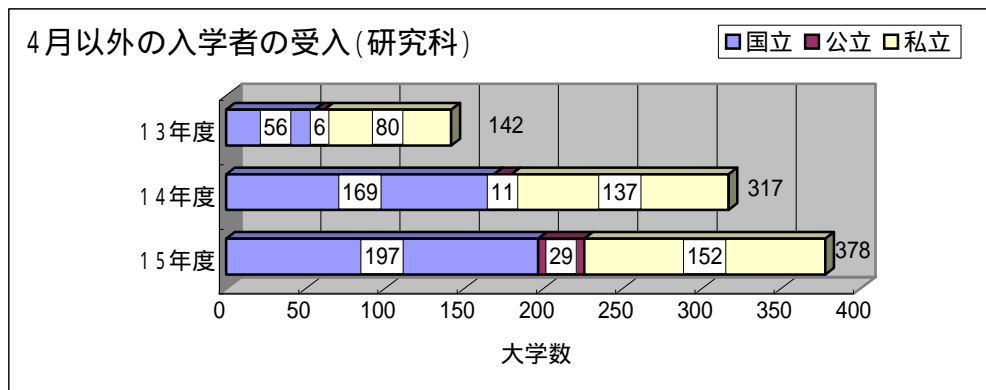
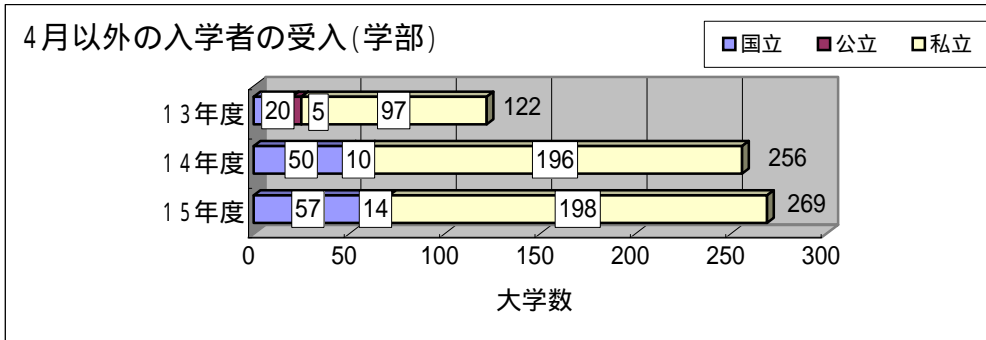
東北大学47人、九州大学42人、大阪大学28人、名古屋大学24人、金沢大学23人

4. 単位互換、編入学等「開かれた大学」への取組状況

< 入学時期の弾力化 >

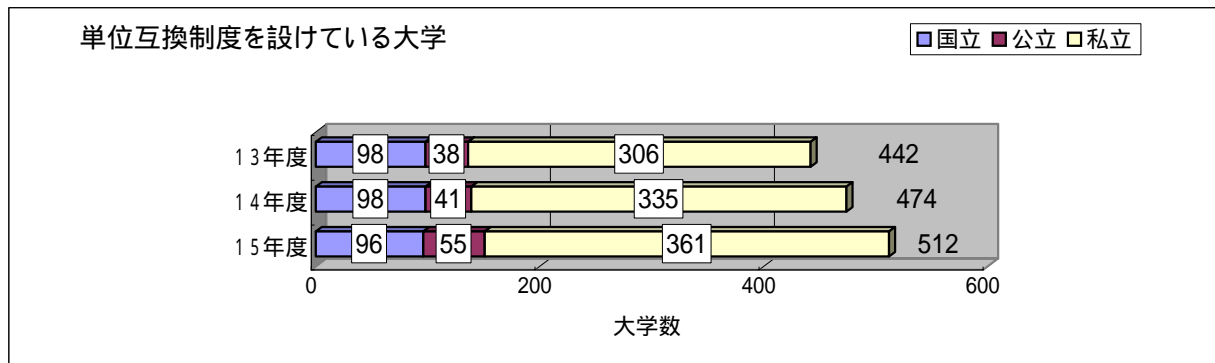
4月以外の時期の入学者の受入(平成15年度)

受入を行う学部・研究科ともに増加傾向にあり、双方とも社会人が多い。



平成14年度から放送大学大学院が学生受け入れ。

< 単位互換 >



(設置者が異なる単位互換協定締結の例)

- ・国立と公立間
山梨大学 山梨看護大学
福井大学 福井県立大学
福井医科大学
- ・国立と私立間
滋賀医科大学大学院医学系研究科 龍谷大学大学院社会学研究科
高松大学
香川大学 徳島文理大学 放送大学
香川医科大学 四国大学
- ・国立と公立と私立間
秋田大学 秋田県立大学 秋田経済法科大学

(他大学での履修を認められた学生数)

(平成15年度)

	対国立大学	対公立大学	対私立大学	対国外大学	対放送大学	計
国立	1,519 (791)	313 (150)	236 (237)	516 (625)	288 (243)	2,872 (2,046)
公立	213 (130)	349 (369)	508 (676)	69 (43)	207 (317)	1,346 (1,535)
私立	875 (809)	950 (786)	11,321 (10,712)	2,346 (2,670)	3,347 (3,338)	18,839 (18,315)
計	2,607 (1,730)	1,612 (1,305)	12,065 (11,625)	2,931 (3,338)	3,842 (3,898)	23,057 (21,896)

()は平成14年度実績を示す。

(組織的な単位互換の事例)

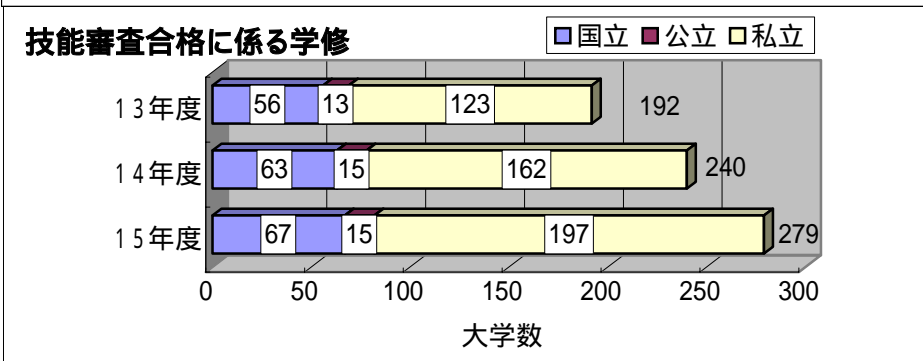
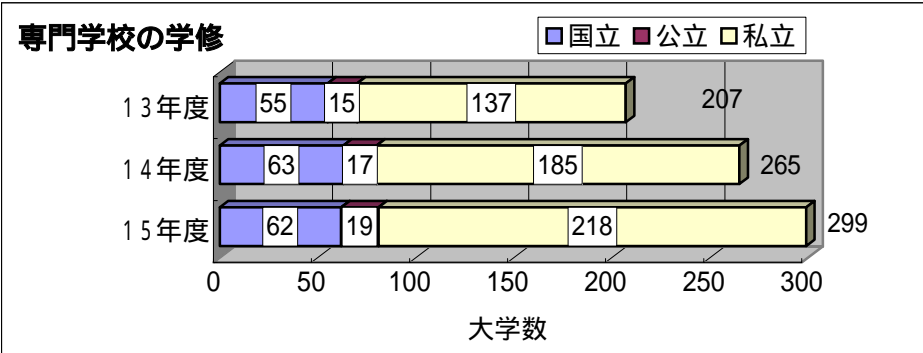
・学都仙台単位互換ネットワーク
宮城県内仙台圏の17の国立、公立、私立の大学及び短期大学が、大学間の交流と協力を推進し、大学教育の活性化と充実に資するとともに、意欲ある学生に対して多様な学習機会を提供することを目的として、平成13年度に、各大学の学生が他の大学の授業科目を履修し単位の修得ができるよう協定を締結。

・工科系大学教育連携協議会の単位互換制度
国立の工科系大学11校が、相互の交流と協力を促進し、教育内容の充実を図ることを目的として、遠隔教育による単位互換協定を平成15年に締結。

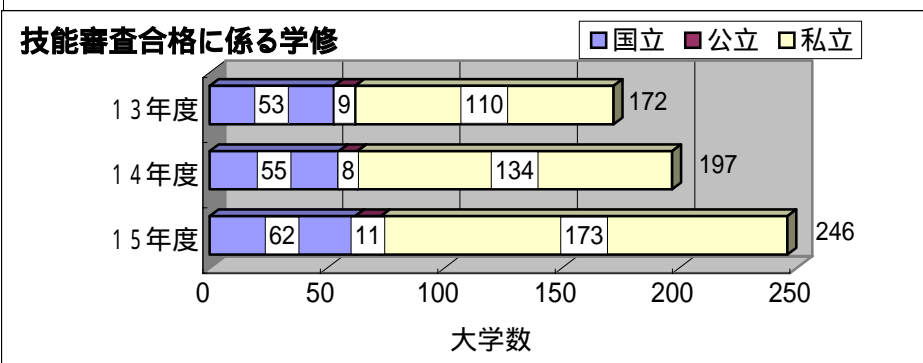
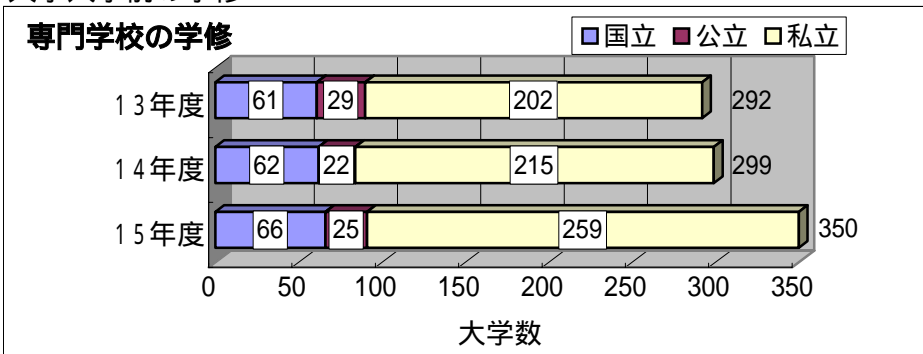
< 単位認定の弾力化 >

単位認定制度を置く大学

大学以外の教育施設等の学修(入学後)



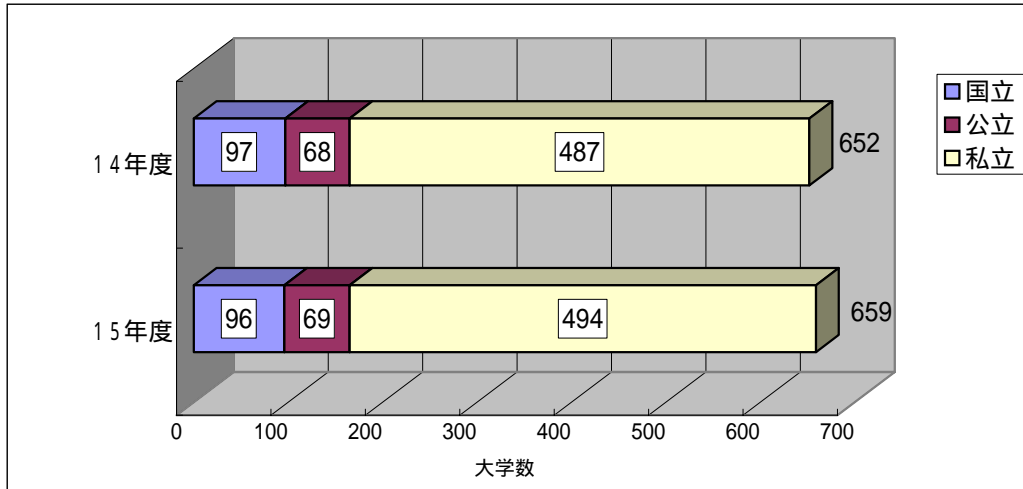
大学入学前の学修



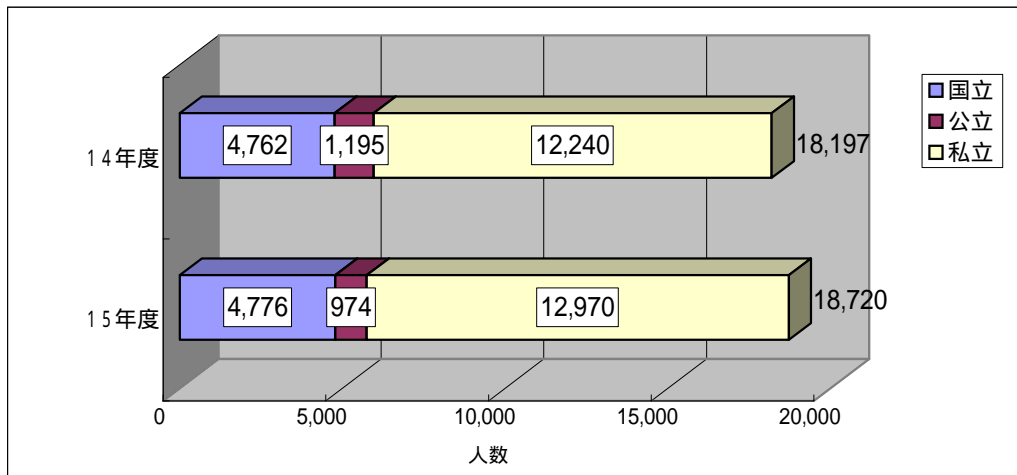
<科目等履修生について>

当該大学の学生以外の者に、パートタイム形式による大学教育を受ける機会を広く認め、その履修成果に単位を与えることのできる「科目等履修生制度」が活用されている。

(科目等履修制度をおく大学)



(科目等履修生として受け入れられた学生数)



(科目等履修生の受入大学の例)

(注)平成15年度中に、大学ごとに受け入れられた学生数の延べ数。

国立 筑波大学426人、広島大学156人、琉球大学155人

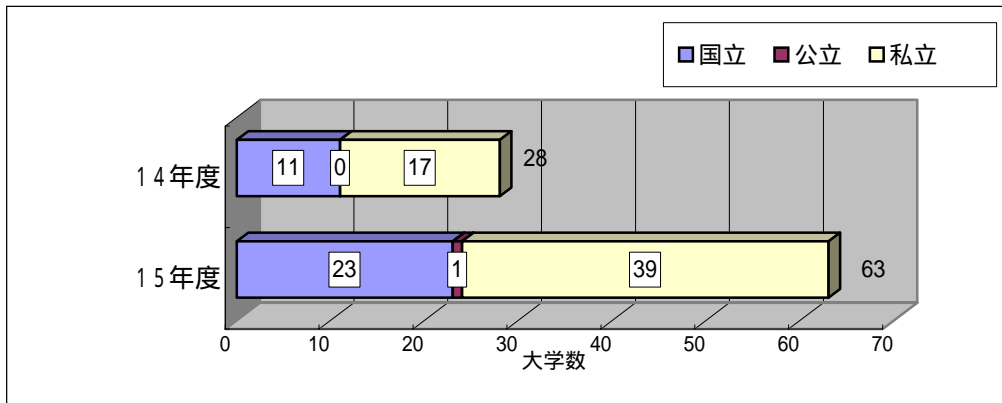
公立 東京都立大学117人、大阪府立大学104人、北九州市立大学92人

私立 立命館大学356人、桐朋学園大学230人、龍谷大学181人

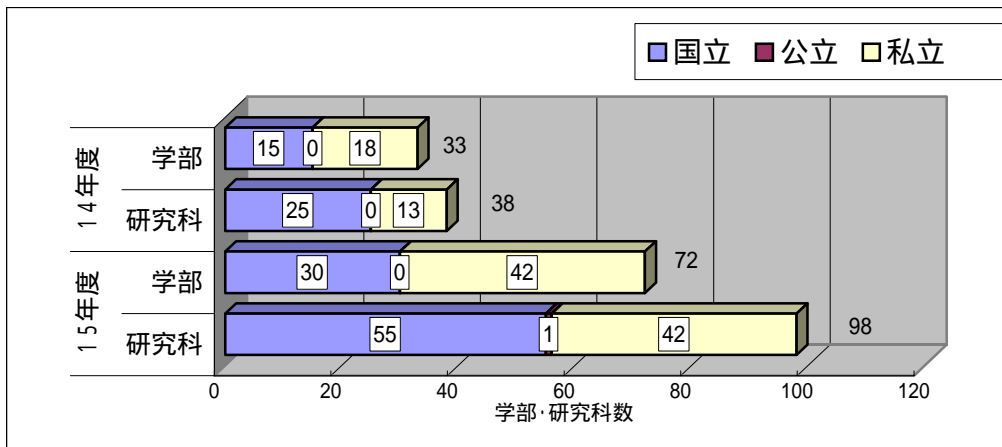
< 長期履修学生制度の導入状況 >

職業を有している等の事情により、修業年限を超えた一定の期間にわたって、計画的に教育課程を履修して卒業する「長期履修学生制度」については、平成15年度においては63大学が導入し、学部では98人、研究科では281人の学生が本制度を利用している。

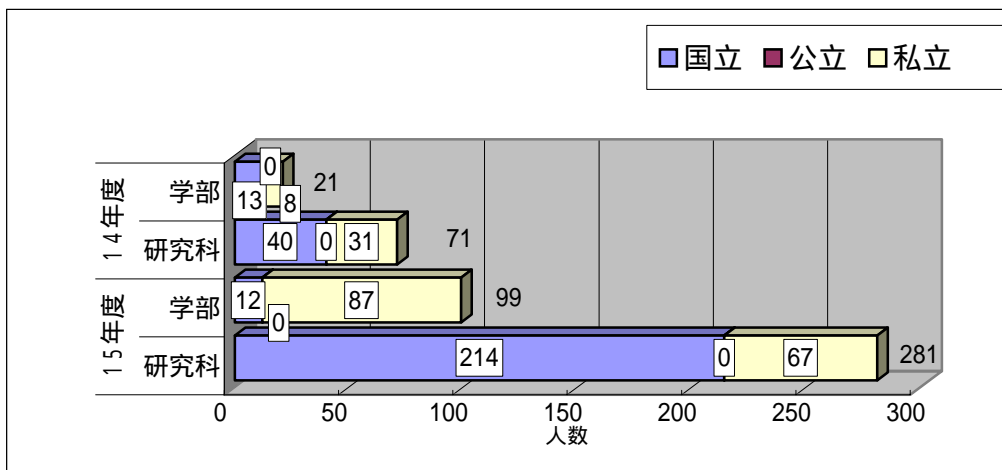
(長期履修学生制度を導入している大学)



(長期履修学生制度を導入している学部・研究科数)



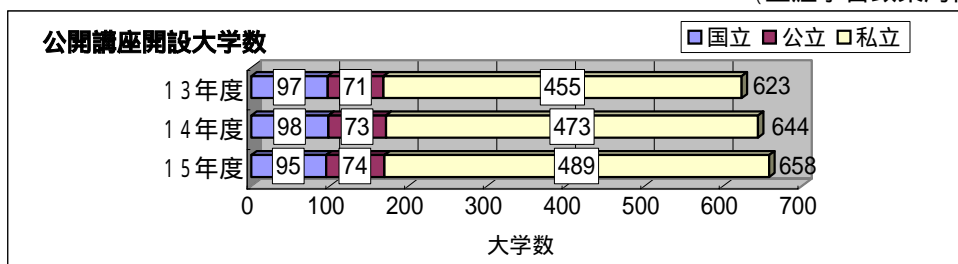
(長期履修学生の人数)



< 公開講座の開設状況 >

生涯学習需要の高まりとともに、公開講座を開設する大学も年々増加している。

(生涯学習政策局作成)



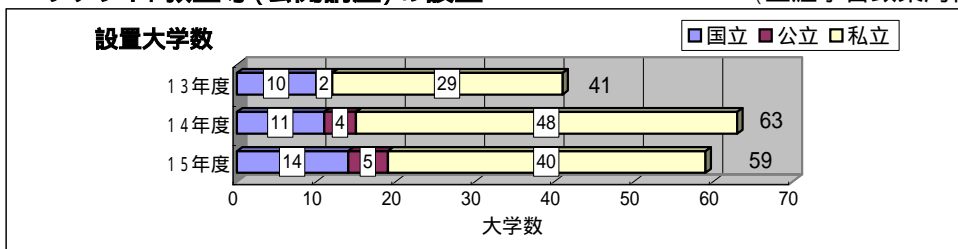
(高等学校生徒向け公開講座の取組例) (平成15年度)

- ・徳島大学: 県内高等学校の生徒に対し、16の授業科目を公開し、51名を受け入れた。
- ・東京工業大学: 「化学への招待」、「高校生のための物理公開講座」と題し、高校生に対し公開講座を実施した。受講者数234名。

< サテライト講座の設置状況 >

サテライト教室等(公開講座)の設置

(生涯学習政策局作成)

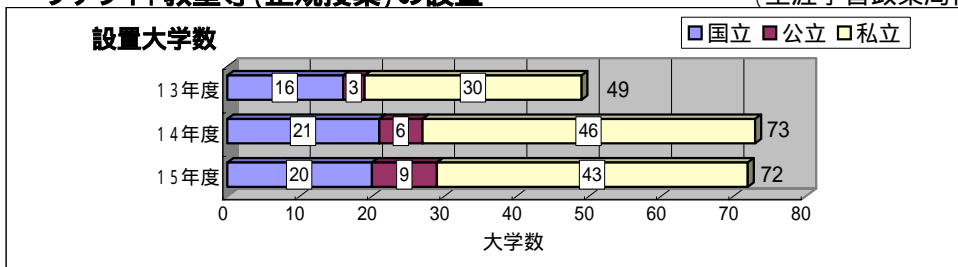


(サテライト公開講座の取組例)

- ・東京外国語大学
「本郷サテライト」: 「言語聴覚士のための音声学講座」、「イラン文化講座」等の講座が開かれた。
- ・兵庫教育大学
「大学院神戸サテライト」: 「発達が気になる子どもの家庭療育の方法」等の講座が開かれた。

サテライト教室等(正規授業)の設置

(生涯学習政策局作成)



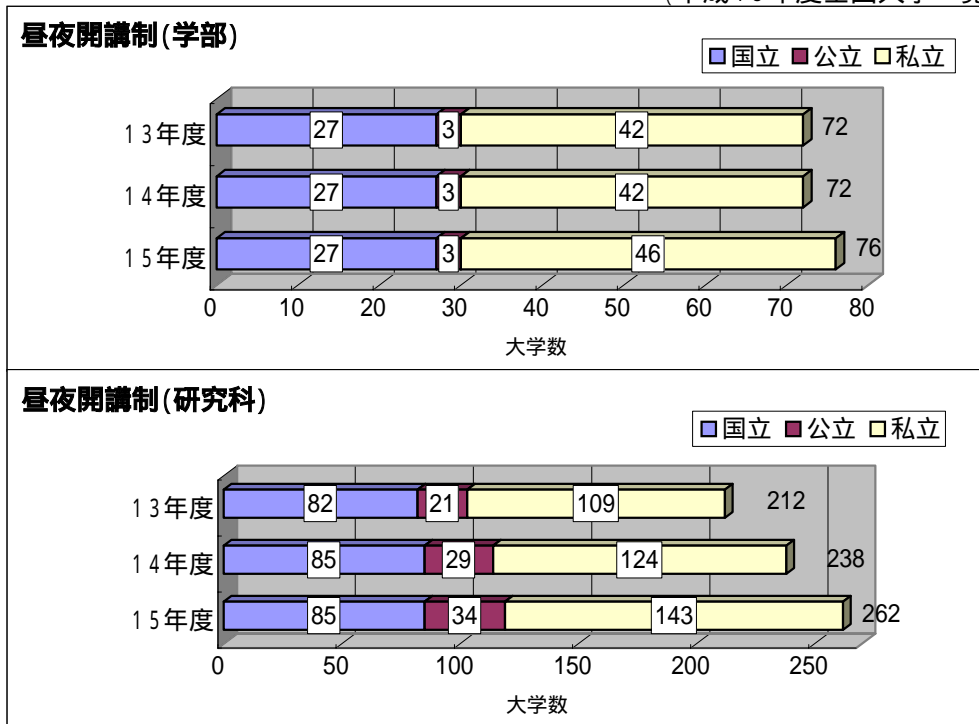
(正規授業のためのサテライト大学院の例)

- ・ 埼玉大学大学院経済科学研究科
- ・ 愛知教育大学大学院教育学研究科
- ・ 鹿児島大学大学院人文社会科学研究科

、 のそれぞれにおいては、正規授業又は公開講座との併用を含む。

< 昼夜開講制 >

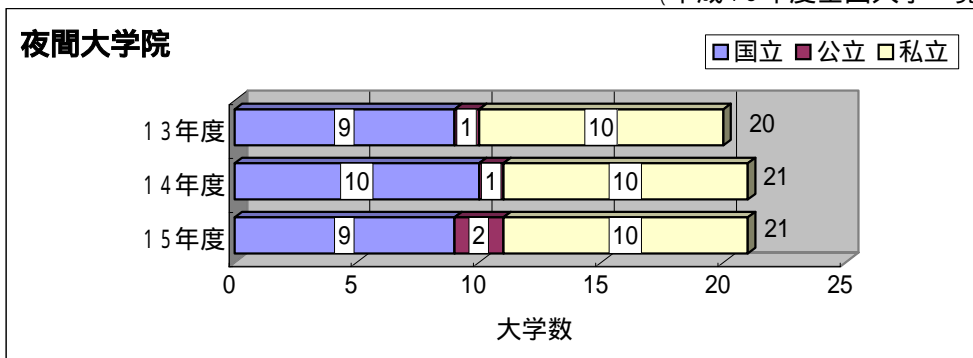
(平成15年度全国大学一覧)



昼夜開講制 : 時間的制約の多い社会人等の便宜に配慮して、同一学部の中に「昼間主コース」、「夜間主コース」を設け、昼間及び夜間の双方の時間帯において授業を行う制度。

< 夜間大学院 >

(平成15年度全国大学一覧)



(平成15年度夜間大学院設置大学)

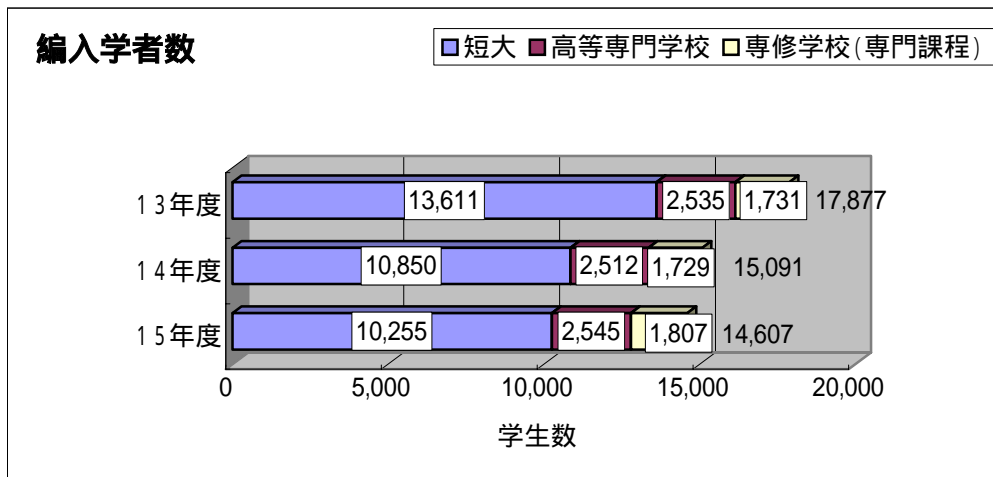
国立 筑波大学、埼玉大学、千葉大学、東京学芸大学、一橋大学、信州大学、大阪教育大学、岡山大学、広島大学

公立 大阪市立大学、北九州市立大学

私立 多摩大学、東洋大学、立正大学、早稲田大学、東洋英和女学院大学、山梨学院大学、

< 編入学者数 >

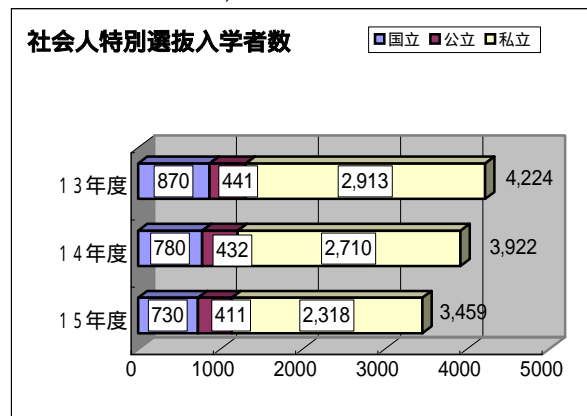
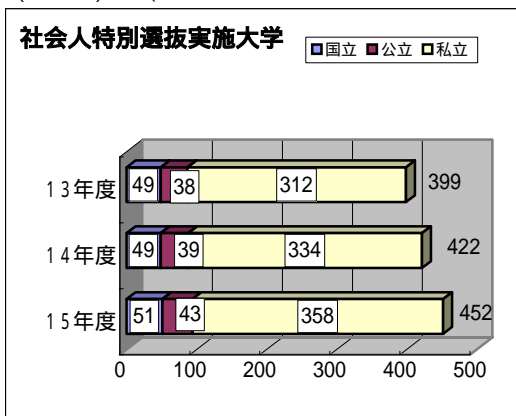
(平成15年度学校基本調査報告書)



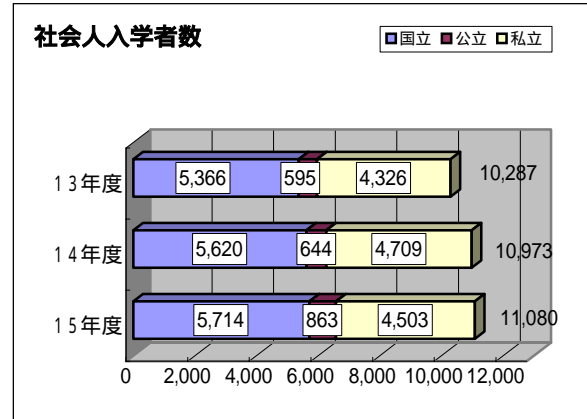
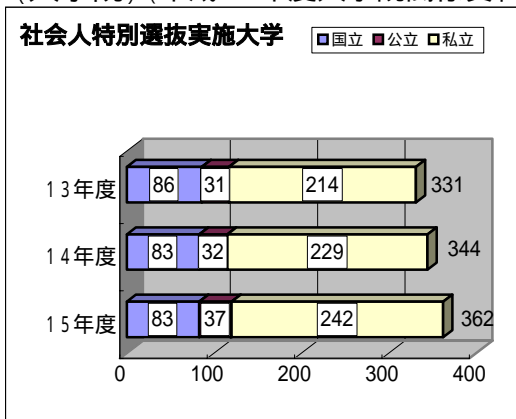
編入学：短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)を卒業し、大学の途中年次に入学する制度。

< 社会人の受入れ >

学部・大学院双方において、社会人特別選抜を実施する大学は増加している。
(学部) (平成15年度国公立私立大学入学者選抜実施状況)



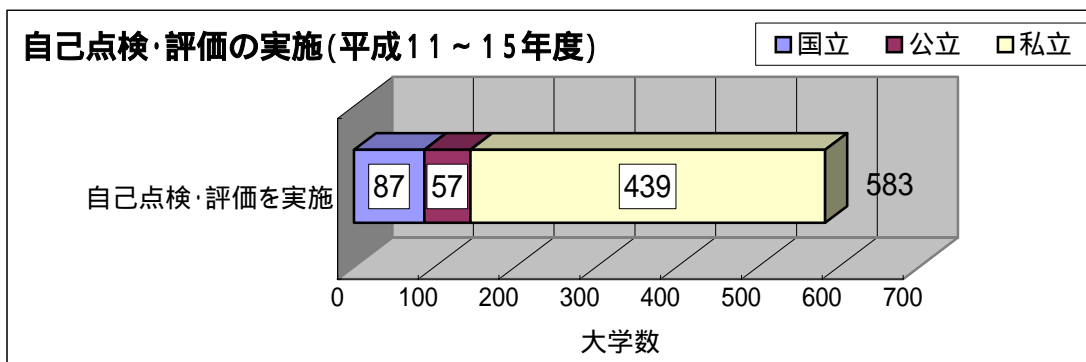
(大学院) (平成16年度大学院関係資料)



5. 自己点検・評価、外部評価等の実施状況

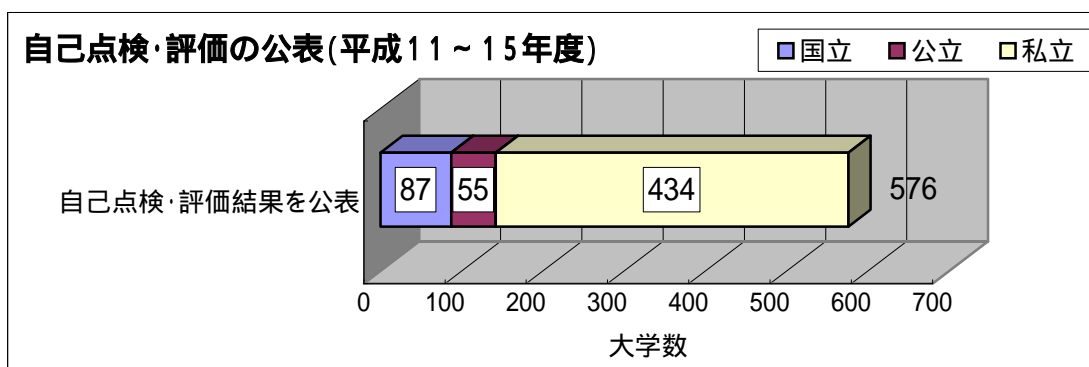
<自己点検・評価の実施状況>

平成11年度から平成15年度までに、国立87大学(約90%)、公立57大学(75%)、私立439大学(約83%)、国公私立全体で583大学(約83%)で全学的な自己点検・評価が実施されている。



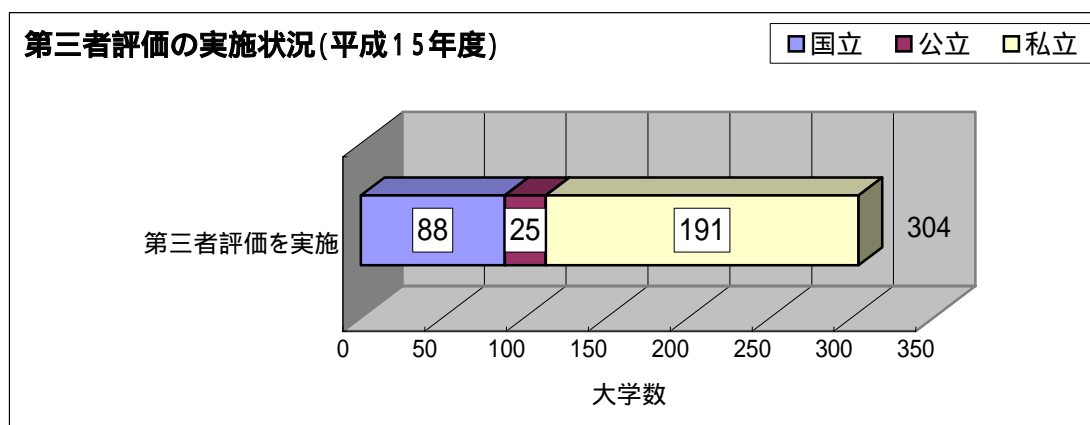
自己点検・評価結果の公表

全学的な自己点検・評価を実施した大学のうち、国立大学87大学(100%)、公立大学55大学(約96%)、私立434大学(約99%)、国公私立全体で576大学(約99%)が結果を公表している。

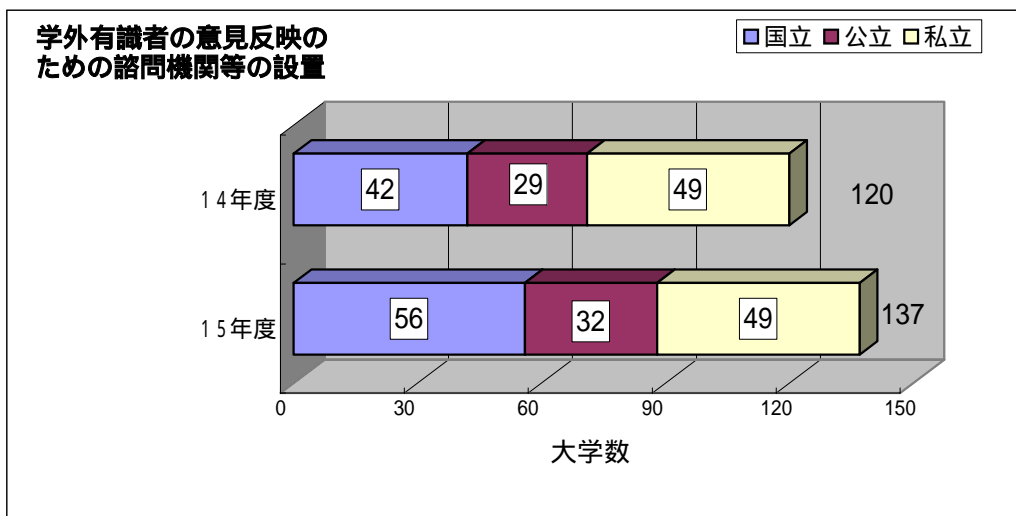


第三者評価の実施状況

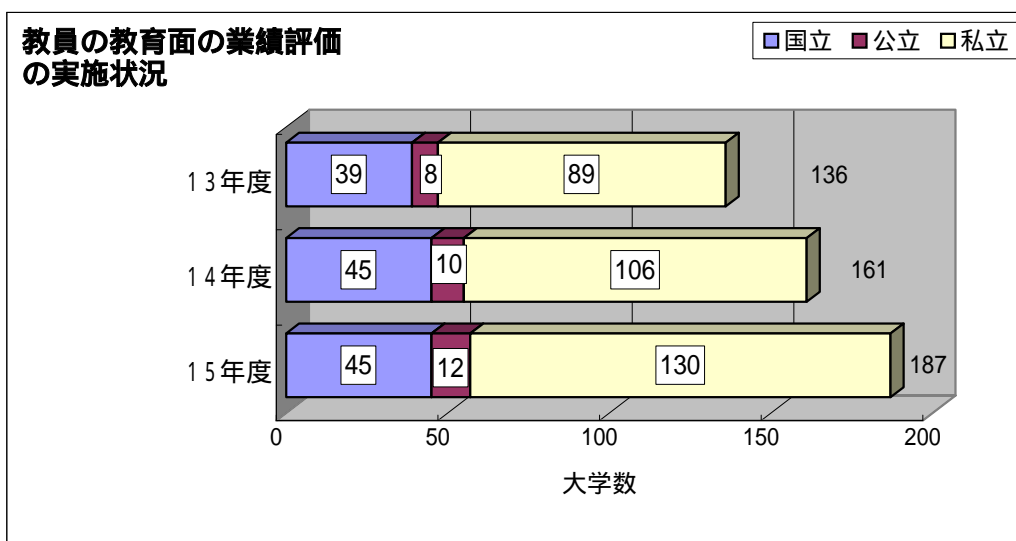
平成15年度までに、国立88大学(約91%)、公立25大学(約33%)、私立191大学(約36%)、国公私立全体で304大学(約43%)が全学的な第三者評価を実施している。



< 学外意見の反映 >



< 教員の教育面の業績評価の工夫 >



(教員の教育面の業績評価の実施例)

・東京医科歯科大学歯学部

学部及び大学院の学生教育に関する自己評価と併せ、分野責任者による各教員が掲げた教育目標の評価・各教員の分野の教育活動への貢献度評価を行い、評価結果を教員にフィードバックし、教育面での改革・活性化を促すとともに、教員の表彰制度や任期制教員の再任時の判断資料としている。評価結果は各教員に個別に通知するとともに、集計結果はグラフにして公表している。

・フェリス女学院大学

教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)、作成した教科書、教材、参考書 教育方法・教育実践に関する発表、講演、その他を評価項目として、第三者評価機関において平成15年度に外部評価を実施し、審査結果等をまとめた報告書を作成し、学内・学外に公表。